

## 教材名「すがたをかえる大豆」

### ■ 目 標

- ・ 身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。
- ・ 中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。
- ・ 本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、わかりやすくまとめて友だちと交流する。

### ■ コンピュータを活用する利点

デジタル教科書を電子黒板に映すことにより、文章中のキーセンテンスやキーワードを全員が視覚によって確認できる。また、教師は児童と同じ学習作業を行うことができる。それにより、読みの苦手な児童も学習作業がはかどり、内容をよりよく読み取ることができると考えた。

### ■ 授業の流れ

教科書を音読し、学習課題を確認する。

おいしく食べる工夫に線を引き、食品を○で囲む。

おいしく食べる工夫と食品を表にまとめる。

いり豆・に豆について考える。

次時の学習課題を確認する。

### ■ ICT 活用場面

大豆をおいしく食べるための工夫とその食品を読み取る学習である。児童は教科書に「おいしく食べる工夫」には線を引き、工夫された食品を○で囲んだ。「工夫」という言葉を手がかりに線を引くようにした。その後、光村国語デジタル教科書を活用し、電子黒板を使って子どもたちに発表させた。そして全員で工夫と食品を確認した。



この教材には「炒る」「煮る」等、普段子どもたちがあまり使わない言葉も多く出てくる。言葉の意味を理解するために予め「豆を炒る」「豆を煮る」様子をデジタルカメラの動画で撮影しておいたものをプロジェクタで映して説明した。

### ■ 成果と課題

デジタル教科書を活用することで、児童は自分が線を引いたり○で囲んだりしたところと友だちが発表したところを画面上で比べたり確認したりすることができ、おいしく食べる工夫やその食品を正確に理解することができた。実際に電子黒板に書き込む発表をすることで、より意欲的に学習に取り組めた。電子黒板等を活用することで児童の学習意欲や集中力が高まるが、教材のどの場面でもどのように活用するとより効果的に単元の目標やねらいにせまれるのか、今後さらに研修を積む必要がある。

### ■ ICT 活用環境等

使用周辺機器	パソコン、プロジェクタ、デジタルカメラ
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	普通教室